



軍縮断行の海軍大将

広島初の内閣総理大臣

加藤友三郎通信 36

NPO 法人加藤友三郎顕彰会事務局

令和7(2025)年1月15日発行

ブログアドレス <https://blog.goo.ne.jp/tomo1861/>

【郵便振替】口座記号番号01310-1-100813【名義】NPO法人加藤友三郎顕彰会



「加藤友三郎銅像復帰報告祭」開催報告

令和5(2023)年8月19日(土)、生誕の地大手町第二公園で「没後100年祭」を挙行了。暑い日が続いているさ中であつた。その「没後100年祭」後は、翌年に再建となる銅像のお披露目の会の準備を始め、精力的に検討を重ねた。

市のスタジアム建設部の担当者と再建する位置や日程などについて打合せを、さらに令和6年になってからは、工事中の現場での打合せも重ねた。

サンフレッチェの担当者とサカスタ会議室での直会の打合せも始めた。

このように当初は、再建される銅像の前で神事を行い、スタジアムに移動して直会を行う方向で検討を進めていたが、中央公園の使用予定やサッカーの試合日程などの関係で調整が難しく、メルパルク広島での開催場所に決めたのは6月になってからのことであつた(式典の場所変更の産物は、暑さ対策を講じなくてもいいことであつた)。それからは一機に計画の具体的な概要を煮詰めていった。主な事項は次の通り決定した。

①会の名称は、「加藤友三郎銅像復帰報告祭」

②日時は、8月24日の土曜日、午前11時開始

* (8月24日は加藤友三郎の命日で、平成20年に中央公園に銅像を復元させた日でもある)

③場所は、神事・直会ともに「メルパルク広島」

④会費は、7千円 (神事のみ参加は3千円)

⑤引き出物は、「通信の合冊」(1号～30号)と「記念のお酒」、「友三郎とサッカーの関係を説明したチラシ」の3点

* 通信の合冊は、以前からの事業予定で、印刷の準備は出来ていた。

* お酒は100年祭の時に倣い呉市の三宅本店「千福」に依頼することとした。

(ラベルのデザインや筆耕は、本会の川崎哲生理事が担当)

⑥友三郎とサッカーの関係を説明する説明板を設置する

振り返ると、銅像は、サッカースタジアム建設に伴い令和3(2021)年9月28日に一時撤去され、富山県高岡市の榊平和合金で修復・保管されていた。再び銅像が中央公園に建ったのが令和6年5月9日。令和6年8月1日に中央公園広場「HiroPa」がお披露目となり、加藤友三郎の銅像は我々の式典に先行して同日から公開となっていた。